

小規模企業景気動向調査

[2021年5月期調査]

～経済活動の停滞やウッドショック等の影響で、伸び悩む小規模企業景況～

2021年6月29日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2021年5月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…経済活動の停滞やウッドショック等の影響で、伸び悩む小規模企業景況…◇

5月期の小規模企業の景況DIは、小幅な悪化となった。製造業は改善したが、建設業は、ウッドショック等の影響で大幅な悪化となった。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の延長等により、自粛ムードが強いことから、GWなど本来繁忙期であるが、経済活動が停滞している。前年同月比との比較のため、昨年の▲80.3からは大きく改善しているものの、コロナ禍前の水準には程遠く、依然厳しい状況が続いている。また、コロナ禍の長期化により、地域全体で疲弊が目立ち、資金繰りに苦慮する事業者が増えているとの報告が多かった。

<製造業> ◇…回復基調に戻るも、懸念材料が多い製造業…◇

製造業は、全DIが小幅に改善した。食料品関連は、引き続き、巣ごもり需要で堅調ではあるが、原材料の原価高騰や、宿泊業や飲食業向けの需要減退等の懸念材料があり、伸び悩んでいる。機械・金属関連は、半導体関連の需要増で好調との声もあるが、原材料の価格高騰や資材調達難もあり、業況DIが大幅に下落するなど、先行き不安な状況である。繊維関連は、ライフスタイルの変化により、一部で作業着やキャンプウエア関連の市場が伸びているとの声もあるが、全体的には、生産調整や販促のためのイベントの中止等により苦境が続いている。

<建設業> ◇…ウッドショック等の影響により、採算が大幅に悪化した建設業…◇

建設業は、全DIが悪化し、特に採算DIが10pt以上の大幅な悪化となった。公共工事や災害復旧工事が堅調との声や、民需においても、修繕工事やリフォーム工事が好調との声もある。しかし、全国的にウッドショックや資材不足の影響が拡大しており、建築木材の輸入量の減少とそれに伴う入手難や価格の高騰により、着工の延期や工期の遅れが発生するとともに、受注済みの工事の採算割れが懸念されており、先行き不安との声が多くみられた。

<小売業> ◇…好転材料が少なく、横ばいから悪化に転じた小売業…◇

小売業は、全DIが小幅な悪化となった。食料品関連は、巣ごもり需要により内食向けは堅調であるが、仕入価格の高騰や販売先の飲食店の需要減退等により、全DIが悪化に転じた。耐久消費材関連は、引き続きウイルス対策関連の機器の購入や買替で堅調であるが、通販に需要を奪われているとの声や、自動車販売業では、メーカーの生産が間に合わず、納期に遅れが出ているとの声もあった。衣料品関連は、引き続き、外出自粛の影響を受け、服や靴が売れず、また、ネット販売への消費者の移行もあり伸び悩んでいる。

<サービス業> ◇…3カ月連続の改善から悪化に転じ、厳しさを増すサービス業…◇

サービス業は、業況DIが小幅に改善したが、それ以外は小幅な悪化となった。宿泊業は、一部地域では行政の支援策の効果もあり、ビジネス需要やGWの行楽で客足が戻ったとの報告があったが、感染拡大により、休業を余儀なくされた事業者もあり、予約のキャンセルも多いため、全体的には稼働率が低い状況が続いている。飲食業についても、本来行事の多いシーズンであるが、自粛傾向が強まっており、苦境が続いている。また、洗濯業及び理美容業は、昨年同時期よりは客足が戻ってきているが、来店頻度が減っており、厳しい状況が続いているとの声が多かった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲ 34.0	▲ 34.8	▲ 0.8	▲ 39.1	▲ 36.5	2.6	▲ 21.0	▲ 22.2	▲ 1.2
採算	▲ 36.9	▲ 39.9	▲ 3.0	▲ 43.1	▲ 40.9	2.2	▲ 22.1	▲ 34.8	▲ 12.7
資金繰り	▲ 36.3	▲ 37.6	▲ 1.3	▲ 39.0	▲ 36.7	2.3	▲ 26.8	▲ 30.8	▲ 4.0
業況	▲ 40.0	▲ 41.7	▲ 1.7	▲ 46.3	▲ 42.7	3.6	▲ 24.1	▲ 33.5	▲ 9.4

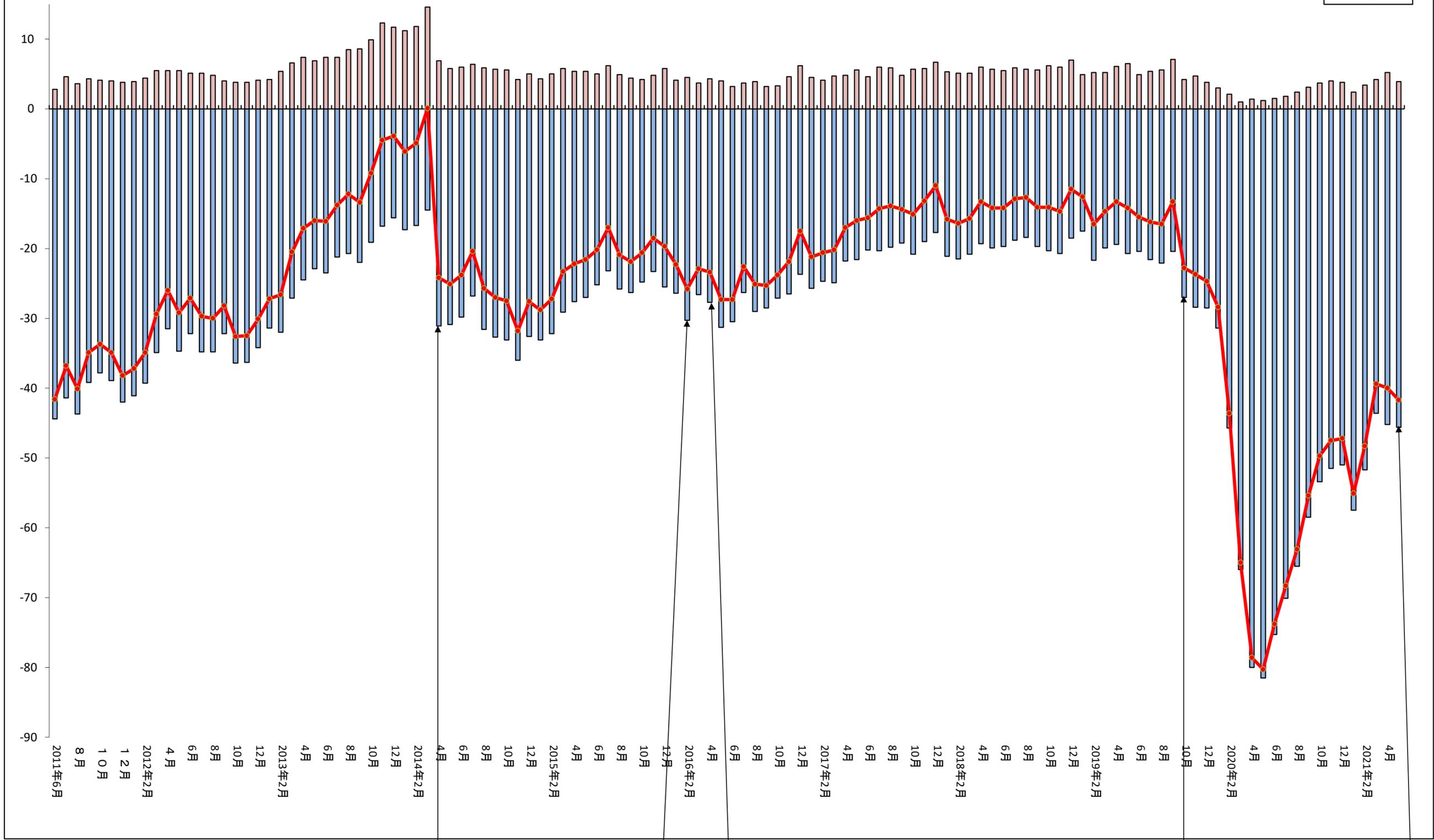
業種	小売業			サービス業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲ 31.5	▲ 34.7	▲ 3.2	▲ 44.3	▲ 45.6	▲ 1.3
採算	▲ 37.2	▲ 38.0	▲ 0.8	▲ 45.2	▲ 46.0	▲ 0.8
資金繰り	▲ 33.4	▲ 35.8	▲ 2.4	▲ 46.0	▲ 47.3	▲ 1.3
業況	▲ 37.9	▲ 40.3	▲ 2.4	▲ 51.6	▲ 50.3	1.3

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



14年4月
消費税
8%
引上げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

16年4月
熊本地震

19年10月
消費税
10%引上げ

21年5月
(-41.7)

小規模企業景気動向調査(5月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・新型コロナウイルス感染症の影響により飲食業界は厳しいが、県の時短要請協力金給付や、町のコロナ対策備品購入、国の持続化補助金等を活用し、懸命に営業努力を続けている事業所も多い。

(苓北町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・緊急事態宣言の発令により、休業並びに時短営業となったことや外出自粛等で消費活動が低迷している。すでにコロナ融資を活用しており、経営維持に困窮している。

(新ひだか町商工会)

・5月の大型連休があったものの、外出自粛ムードが高まり帰省客も少なく、地方でも影響を受けていると感じられた。

(五戸町商工会)

・緊急事態宣言が発令されたことにより、外出自粛の中、地域経済は景気全般に依然として厳しい状況が続いている。新型コロナウイルスの再拡大懸念の不安から先行き不透明な状況が続いているので、未だ影響は大きい。

(檜葉町商工会)

・対面型の業種は、新型コロナウイルスの影響が特に大きく大変苦戦している。県の新事業チャレンジ補助金申請等、新たなビジネスモデルの取組みも進めているが、対面型業種に対しては、国、県、市などの補助金等支援策が特に必要と思われる。

(寺泊町商工会)

・全体的に見ても業種によっては良い兆しと悪い兆しが分かれている。今後のオリンピック効果や景気回復やコロナの終息が大きなカギになってくると考えている。しかしながら、付帯調査の内容を踏まえても、オリンピックはコロナの拡大の促進、オリンピック効果が悪影響に転がるなど、あまり期待がなく逆にコロナ拡大に拍車がかかる恐れがあると心配していた。今後の動向が気になる。

(北杜市商工会)

・1年前の1度目の緊急事態宣言時後と比較するとどの業種においても回復してきているが、以前の水準まで回復することは難しく、また、飲食店等では度重なる時短営業要請等により思うように売上を上げられない期間が続くなど、経営体力としても厳しい状況が続いている。施策などの活用とともに事業者の状況をヒアリングし、課題解決に向けた支援を行っていききたい。

(海津市商工会)

・国や町の施策(一時支援金、プレミアム商品券販売)などにより一時的に資金繰りや消費増がみられるものの、観光産業中心の当町では都内の緊急事態宣言等の影響により、例年の繁忙期であるゴールデンウィーク期間の利用が落ち込んだ影響がみられ、緊急事態宣言延長等により今後は他の産業にも需要停滞が波及してくると思われる。

(南伊豆町商工会)

・依然として経済の先行き不透明な状況が続いており、事業の継続が厳しい状況となっている。ワクチン接種が進んだ後の、アフターコロナを見据えた取組を行っている事業所もあるが、いつまでと言った区切りが無い事から、事業所さんの不安な状況は続いている。

(熊本市植木町商工会)

・業種によってコロナの影響を未だ受けている事業所もいれば、コロナ以前の収益に戻つつある事業所もある。令和2年中に運転資金として借入金も未だ回収はできず、元金据置きで繋げられてる模様。今後、更に資金繰りについての相談があるかと思う。

(中城村商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・食品製造業はコロナ禍で通販部門やスーパー部門の売上げが伸びる。通販やスーパー売上の販促手法の取り組みを加速させ、販路拡大に繋げたいと意欲を持つ事業者の声を聞く。

(内郷商工会)

・機械金属製造業については受注が戻りつつある事業者もあった。新製品を取入れ生産計画を立てている事業者が多い。

(岩美町商工会)

・緊急事態宣言の影響もあり、食料製造業の需要は高まった。特に惣菜の人気が高まり、中食需要が増加している。

(佐伯市番匠商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

・食料品…例年であれば、自治会等の需要が見込めるが、昨年引き続き低水準。百貨店向けの贈答品販売計画は例年以下となっている。原材料高騰による価格転嫁が懸念材料。繊維工業…アウトドア用品を手掛ける縫製業では、若者向けのキャンプ用テントやレインウェアの受注が好調。一方で、コロナ特需による関連商品は受注が落ち着いてきている。機械・金属…安定した受注が続いており、微増であるが、昨年以上の売上を見込んでいる。半導体関連が好調で下請けにも需要が拡大している。

(由利本荘市商工会)

・食料品製造業は回復基調にあるが、縫製業や機械金属部品製造業は依然として苦戦を強いられている。雇用調整助成金を利用しているが、大手百貨店の休業や閉店の影響により、製造した製品の納品が延期になり、在庫が増えて入金が先送りという状態になっている。

(よこて市商工会)

・＜食料品＞業況に大きな変化はないが、昨年と比べ、食品スーパー等への納入は減少している。＜繊維工業＞ファッション業界はもちろん、スポーツウェア関係の需要も芳しくない。ただ、ライフスタイルの変化により、作業着やキャンプウェア関連の市場は伸びている。＜機械・金属＞先月から引き続き、建替需要や倉庫施設の新設等の案件が増加している。またサプライチェーンの国内回帰に関する設備投資も増えつつあるように感じられる。

(射水市商工会)

・金属製品の製造・加工業は企業間格差が広がっている。半導体関係の需要増に伴い受注が増えている企業がある一方、親会社の内製化の影響を受け、これまでの加工の受注が無くなり従業員を減らしている企業もある。新規取引先の引き合いがあったものの、要求された加工が自前の機械では対応できない場合もあり新規取引先の獲得に難航している企業がある。

(佐久市望月商工会)

・機械金属製造業において機械自体は需要があるが半導体不足等により受注が大幅に減少している(主に自動車関連業)。先行きも不透明である。

(伊豆の国市商工会)

・繊維工業に関しては、イベントの自粛の影響で単価の高かったコンサート用タオル製品の受注が全く無くなり、先の見通しも立たず、非常に厳しい状況が続いている。機械金属製造業に関しては、自動車関連は持ち直しの傾向が見られるものの、以前として厳しい状況が続いている。

(東温市商工会)

3. 建設業

＜改善傾向を示すコメント＞

・土木工事は順調に受注。建築工事は新築あるものの町外業者の受注が目立っており、今後に期待。

(小平町商工会)

・業界全体として好転傾向にある。

(茂木町商工会)

・建設業に関しては、災害防止のための工事および維持のための工事が入ってきており、好調である。

(呉広域商工会)

・高規格道路が3月末で開通し、大きな公共工事の1つは目処が立ったが、あと1つの東九州道の開通を7月に控え、急ピッチで工事を進めており、コロナ禍ではあるが、現時点での景況はよいと思われる。

(志布志市商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

・建築事業においては部材が入りにくくなっており、木材も高騰している。年内の引き渡しを予定していた現場も工期が遅れ間に合わない状況とのことである。

(みやぎ北上商工会)

・ウッドショックの影響を大いに受ける住宅建築関連にて材料入荷のめどが立たず、施工遅れが生じている。

(栗野商工会)

・国の緊急事態宣言が発令されたが、リフォーム関連業界においては堅調に推移している。

(狛江市商工会)

・建設に関しては、ここにきてウッドショックが深刻化しており、木材の不足や、大手の買占めによる価格の高騰は深刻な状況となっている。コロナ禍でお家需要が高まっており、受注件数に関しては好調だが、原価の高騰により採算は見合わないものとなっている。

(中央市商工会)

・建築現場では輸入の建築構造材は価格高騰し入荷もしない。国産木材は高騰している影響で、現場がストップしているところもあり。リフォーム需要はある。

(浅羽町商工会)

・輸入木材が入荷せず、ハウスメーカーなど新築物件の工期の遅れがみられ、板金業者など関連業者にも影響が出ており、リフォームなどで繋いでいるところもあり、先行きを不安視される事業所が見受けられる。

(丹波市商工会)

・ウッドショックによる材木不足が顕著にみられ、よい材木は業者間で取り合いになっている。それにより価格も高騰し、結果採算も悪化している。売上自体にコロナの影響を感じることは少ない。

(下関市商工会)

・土木工事は災害特需により好調。建築工事については民間工事の減少と材木価格の高騰により不振となっている。

(日田地区商工会 大山支所)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・ゴールデンウィーク需要でやや売り上げと利益を伸ばしているが、毎年の季節需要であるため業界の業況は変化なし

(吉田町商工会)

・家電販売店は、換気設備の需要の高まり忙しくされている。

(高島市商工会)

・一般食品の販売額が増加している事業者が多い。家庭内での飲食機会の増加が原因であると考えている。

(安芸高田市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・衣料品関連の事業者は、昨年はポイントカードの還元キャンペーンもあったおかげで売上があったが、今年は何もイベントもないため売上はかなり減少している。問屋からコロナの影響で直接カタログが送付されてくるが実物が見れないため不安を感じており、品揃えに影響している。食料品関連の事業者は、外食産業の状況が回復していないため、昨年同様、業務用米の需要が無い。農業資材は値上がり傾向となっており、農業者のリタイアが目立つ。

(かづの商工会)

・引き続き外出自粛の影響から衣料品販売は厳しい状態が続いている。また、飲食店の時短営業も続いており、米の小売などの食料品の小売業は売上が減少している。

(栄町商工会)

・衣料品販売は、アウトドアウェア、スポーツウェアを取り扱う店舗は、気温の上昇とともに上向き基調であるが、婦人服を中心に取り扱う店舗は外出自粛の影響も受け苦戦を強いられている。酒小売は前年5月比250%に回復しているものの、コロナ前と比較すると未だ34%減少しており回復する兆しはない。特に4、5月は、飲食店に春祭りや各団体からの予約がなかったことが大きな影響。

(富山市八尾山田商工会)

酒小売:前年度よりは改善したが、飲食店への卸は減少しているので回復には時間がかかる。5月の神社の例祭(春祭り)が無くなり、売り上げ大幅減少。去年のGWより更に客人も少なく、県外のお客全然来なかった。神仏具製造・販売:昨年からの寺社仏閣や自治体関連の行事の自粛が継続しており、売上は大幅減少。今年も減少続く見込み衣料品小売業:行事が中止になったり、出かけることが少なくなってしまうため、服を買う機会が減り、売り上げが減少した。信楽町内の衣料品は町内の高齢者需要のみで低め安定。学生服は昨年より売れた食料品販売は天候不順による野菜の高騰で仕入れ価格上昇 自動車販売が振るわず

(甲賀市商工会)

・自動車業界では半導体が不足している影響で新車の入荷に遅れが出ており、納期が年末になる車種もあるとのことで、動きが鈍い。一方で食料品小売業は、スーパー等巣ごもり需要で安定している一方でコンビニなどは外出自粛の影響を受け悪化している。また、コロナ対策関連商品は、補助金等の影響もあり需要は上昇している。

(丹波市商工会)

・衣料品関連の小売業は、前年は緊急事態宣言の1回目以外出自粛の影響により急減。前年比べれば回復しているものの、コロナ前より依然店舗への集客は鈍い。食料品関連の小売業は、県内新型コロナウイルス感染者の増加、県外の緊急事態宣言、外出自粛により来店数が減少し売上も減少した。耐久消費財関連の小売業は、例年なみで推移。半導体不足により納車が遅れている。緊急事態宣言の影響なし。

(中部商工会産業支援センター)

・外食需要が減ったため、スーパーの売上は微増となった。ただし、仕入れ単価も増加しており、採算は変わらず。また、従業員確保に苦慮している。

(佐伯市番匠商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・理美容関連の事業者については、少しずつではあるが回復傾向。

(境町商工会)

・どのサービス業も現在はコロナによる影響は一時に比べて回復傾向にある

(清須市商工会)

・当町には、ホテル1軒・旅館・民宿が5軒 計5軒あるが、観光客は少ないものの、2月~6月まで、九州電力荅北火力発電所の定期検査があり、800名の作業員が宿泊に利用しており、経済波及効果が見られる。また、風力発電工事関係者も1月~5月まで、旅館に宿泊しており、売上増加に繋がっている。

(荅北町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・宿泊業は、コロナにより観光による利用は0だが、公共工事とうの発注による事業者利用が急増し、一息ついている。理美容では、外出自粛の影響と思われる来店客の減少が多く見られ、各店通常より営儀容時間短縮により経費削減に努めているとのこと。

(小平町商工会)

・国の緊急事態宣言が5月まで発令されていたため、酒を提供する店舗において4月末より休業を余儀なくされ、売上・収益とも大幅減。

(狛江市商工会)

・旅館・宿泊所関連の事業者は、不要不急の外出の自粛等により厳しい状況となっている。洗濯関連の事業者は、燃料費の上昇による収益の悪化が続いている。理美容の事業者は、お客様の来店頻度が減少している。

(能登町商工会)

・宿泊業において昨年よりは売上金額は上向いてきているが、来客される方の少人数化が目立ってきており(団体客減少)、提供サービスの質を落とせないなので人件費が増え、採算が悪化している。

(伊豆の国市商工会)

・旅館:GWは昨年同様、コロナ前ほどの客足はないものの個人客はあったが、緊急事態宣言後は非常に厳しい、アフターコロナを見据えて、設備改装など補助金活用しながらサービス向上を図っている状況である。洗濯:支援金等活用することなく、売上はコロナ前とほぼ同推移できている。感染対策をしっかりと、利用者に安心してもらえるよう努めていきたい。理美容:5月にも地域内で感染者が確認されたことで、お客様の予約に影響が出てきている。5月中旬からの緊急事態宣言発令により、さらに客足にブレーキがかかった状況。引き続き、新しい生活様式に対応した感染対策に留意し、接客対応していきたい。

(みまさか商工会)

・飲食・宿泊関連のサービス業は、新型コロナウイルスの拡大による移動自粛により、予定していたGW期間中の繁忙期の売上げが見込めず、資金繰りが悪化している。

(松浦市福鷹商工会)

・得意客やリピーター客で何とか営業している店舗もあるが、全体的に新規のお客さんを増やすことは難しい。宿泊・洗濯・理美容等、各団体ごとに定められたガイドラインを遵守しているにもかかわらず、消費者からの衛生面でのイメージの払拭にまで至っていない。

(山都町商工会)

・美容業(美容室)等の生活衛生関連事業者は新型コロナウイルス感染症が他業種に比べて少なくほぼ横ばい。感染対策を行っている事業者も多い。

(玖珠町商工会)